



地域密着型金融の取り組み
～平成22年度の進捗状況について～

平成23年5月

株式会社 **滋賀銀行**

はじめに

当行は、平成22年4月に「地域密着型金融の推進に関する基本方針」(※)を公表しております。

本報告は、この方針に基づいた当行の「地域密着型金融推進に関する個別取り組みの状況（平成23年3月末現在）」についてお知らせするものです。

※「地域密着型金融の推進に関する基本方針」の詳細につきましては、当行ホームページ上の「地域密着型金融の推進」の項目をご覧ください。

目次

項目	ページ	ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
・地域密着型金融の推進に関する基本方針	P.1			
・「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組みについて	P.2～P.16			
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(1)	P.2	○	○	
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(2)	P.3	○		○
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(3)	P.4	○		
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(4)	P.5	○	○	
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(5)	P.6	○	○	
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(6)	P.7	○	○	
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(7)	P.8			○
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(1)	P.9	○		
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(2)	P.10	○		
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(3)	P.11	○		
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(1)	P.12			○
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(2)	P.13		○	○
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(3)	P.14			○
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(4)	P.15			○
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(5)	P.16			○
・地域密着型金融の推進に関する数値目標および実績について	P.17			
・〔ご参考〕主要開示計数について(平成22年4月～平成23年3月)	P.18			

※「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」

「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」は、地域密着型金融に関して金融庁から取り組みを求められている3つの分野です。

地域密着型金融の推進に関する基本方針



当行は、地域の皆さまとの「共存共栄」を目指し
3つのブランド戦略 ～知恵と親切の提供～を
積極的に展開していきます。

ネットワークのしがぎん

アジアに強いしがぎん

CSRのしがぎん

当行は、「地域社会との共存共栄」こそが地方銀行の目指すべき究極の姿であると考えております。

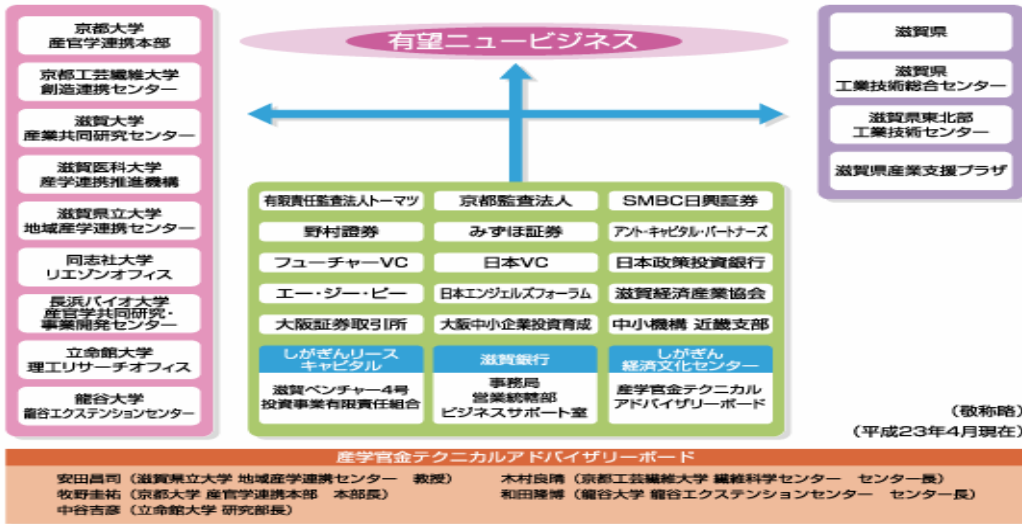
その実現のために、当行は「自己責任原則に基づく独自経営」の確立を通して、地域密着型金融の推進を図ってまいります。

具体的には、第4次長期経営計画（平成22年4月～平成25年3月）において、お取引先との相互理解を図るための「対話力」の更なる強化に取り組み、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」としての態勢を一層強固にして、「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」（「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」）の充実と実践に魂を込めて取り組んでまいります。

また当行は、この基本方針に基づき、金融庁から求められていた3つの分野「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」に対して、当行独自の「3つのブランド戦略」を通じて取り組んでまいりました。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（1）

しがぎん ニュービジネス支援ネットワーク 野の花応援団



《「野の花応援団」の組織図》

エコビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

- ・当行は、ニュービジネスの育成が地域金融機関の使命と考え、平成12年度より毎年「サタデー起業塾」を開催しており、平成22年度までの卒業生は、延べ1,577名にのぼります。
- ・3年前よりテーマを「環境」に特化し、平成22年度は「環境(気候変動・生物多様性)」をキーワードに今こそニュービジネス創造」をテーマとして開催しました。平成23年度のテーマは、「グリーン&ライフイノベーション～環境ビジネスのニューステージに注目～」とし、環境ビジネスに「医療・介護・健康」や「観光・地域活性化」を加え、内容を充実させております。

起業の夢を強力にサポートします

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～
～事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に
適した資金供給手法の徹底～

「野の花応援団」

- ・起業・新事業創出への支援を一層強化するため、当行は滋賀県をはじめとした行政機関、京滋地区の9大学、証券会社などと提携した地域密着型のしがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」を組織(平成14年)し、お取引先のサポートに取り組んでいます。
- ・「産学官・金(金融)」の英知を結集した全国でもユニークなネットワークで、起業や新分野への進出を目指されるお取引先に 技術評価を含めた経営のサポートや、ファイナンスツールの提供、株式公開支援などを行っています。
- ・また、ニュービジネスサポート資金として、3,000万円を上限とした無担保融資を行っております。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（2）



「環境力」と「金融力」の融合により「エコビジネス」をサポートします

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～
～地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献～

エコビジネスマッチングフェア2010

- ・環境ビジネスに取り組む企業のサポートを目的として、平成22年6月22日に「『しがぎん』エコビジネスマッチングフェア2010」を開催しました。
 - ・このフェアでは、当行のネットワークを活用し、環境ビジネスに積極的に取り組まれる企業さま同士を結びつけることで商流を創出し、今後の新たな事業展開に向けたお手伝いをしております。
 - ・今回、3回目のフェア開催となり、出展ブースは79社、約2,150名のご来場と約800件の商談が繰り広げられ、ご好評を得ました。
 - ・新しい“商流”創造に向け、第4回目は、平成23年6月21日に開催する予定です。
- 出展企業：エコ（環境）ビジネスに関連した事業分野
- ・新エネルギー/省エネルギー
 - ・リサイクル
 - ・環境土木建築
 - ・浄化（水/土壌/大気）
 - ・環境サポート/ソリューション
 - ・環境アグリ/フード



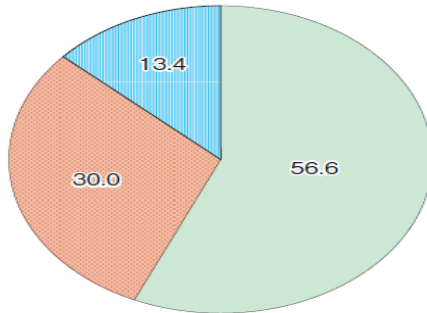
《「エコビジネスマッチングフェア2010」開催の様子》

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（3）

後継者の確保の状況

～後継者の確保が難しいと答える企業が13.4%存在～

- 決まっている
- 決まっていないが確保できる見込み
- 確保が難しい



資料：中小企業庁委託「事業の引継ぎに関する調査」（2009年12月、(株)三菱総合研究所）
(注) 経営者の引退後の事業に対する考え方で「自らの引退後、事業を後継者に引き継ぎたい」と回答した中小企業を集計している。

《出典：「中小企業白書2010」(中小企業庁)》

『しがぎん』ビジネスセミナーを開催

- 経営戦略のご参考としていただくため、お取引先を対象にした『しがぎん』ビジネスセミナーを、2月23日に開催いたしました。
- 当日は、53名の皆さまにご参加いただき、「2011年の経済見通しと今の時代に必要とされる経営戦略」、ならびに「2011年度税制改正の動向・背景と会社経営、事業承継への活用方法」をテーマとして情報のご提供をいたしました。

中小企業の皆さまへさまざまな

ソリューションメニューを提供しています

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～

事業承継に関するセミナーを開催

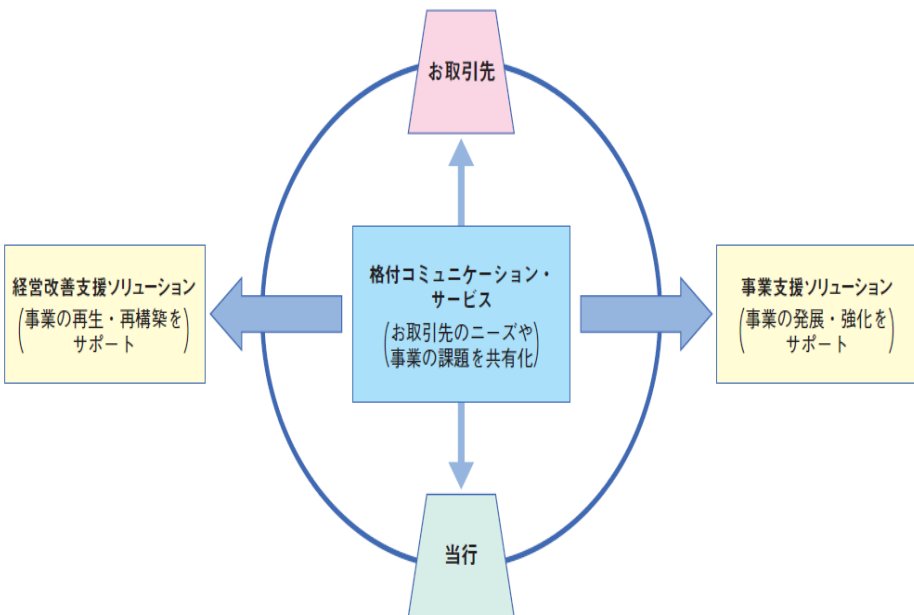
- 企業経営者の高齢化などにより、事業承継問題が近年クローズアップされています。
- 当行では、経験豊富な中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士が資本政策や事業承継計画の策定、自社株承継など、お取引先に最適な対策をご提案します。
- 特に、事業承継対策に関心をお持ちの企業経営者や後継者の皆さまを対象に、『しがぎん』事業承継セミナーを平成19年11月から平成23年3月末までに4回開催、のべ139社161名の皆さまにご参加いただきました。
- また、事業承継問題の解決策として最近特に注目を集めているM&Aの仕組みや手法をご理解いただくために『しがぎん』M&Aセミナーも開催しております。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（４）

お取引先の経営改善のために経営者の皆さまと真剣に向き合います①

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～

～事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底～



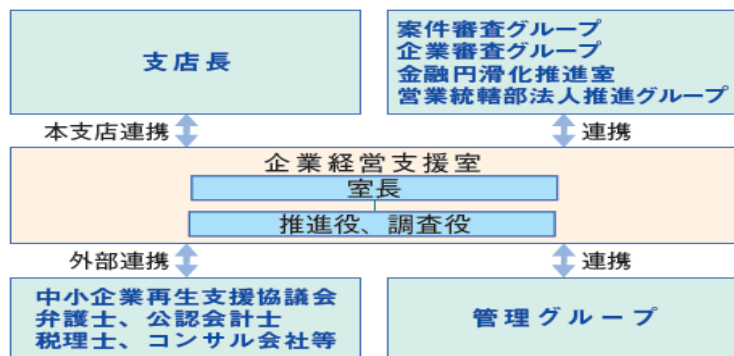
格付コミュニケーション・サービス

- ・当行では、「企業格付」をお取引先と当行をつなぐ合理的なコミュニケーションツールと位置付けています。
- ・このサービスは、格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の持続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。
- ・具体的には、お取引先の経営ビジョンをお伺いしたうえで、当行が認識した課題や問題点を解決するための改善策などを提案、サポートしています。
- ・同サービスは、平成19年8月の開始から平成23年3月末までの間に、のべ4,721回提供しました。今後も、同サービスを中心にお取引先の経営基盤強化を目指してまいります。

経営改善計画の策定サポート

- ・「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点を解決するための改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしています。
- ・また、策定した経営改善計画の進捗状況は適宜モニタリングし、お取引先の経営改善に向けた取り組みをサポートしています。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（5）



《審査部「企業経営支援室」組織図》

お取引先の経営改善のために経営者の皆さまと真剣に向き合います②

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～
～事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底～

債務者区分を改善（ランクアップ）

- ・経営改善に取り組まれているお取引先に対しては、「審査部企業経営支援室」を中心に「財務改善」や「事業再構築」などの「再生スキーム」の作成・実施といった一歩踏み込んだ支援活動を展開しています。
- ・同室が担当するお取引先136先に対し、このような取り組みを行った結果、平成22年4月から平成23年3月末までの間に累計8社の債務者区分を改善（ランクアップ）することが出来ました。
- ・事業再生は、息の長い取り組みが必要であり、成果がすぐに表れる性質のものではありませんが、今後とも共存共栄の理念の下、「知恵と親切を提供するビジネス」に努めてまいります。

経営支援の体制強化

- ・営業店と審査部、営業統轄部の専門スタッフが、お取引先のご要望や経営状況に応じた「事業支援」ならびに「経営改善支援」に積極的に取り組んでいます。
- ・具体的には、売上の向上や経費の削減、および財務内容の改善等に向けたご提案や、組織再編、事業譲渡、M&A等多面的な再生スキームの構築を行っております。
- ・平成21年12月には、円滑な金融仲介を果たすべく審査部内に「金融円滑化推進室」を新設、平成22年2月には、事業支援を行う専門スタッフを営業統轄部「法人推進グループ」に増員しました。また、平成22年10月には経営改善に取り組まれているお取引先への対応を更に強化するため、審査部「企業経営支援室」を増員しました。
- ・今後も、本支店一体となった企業再生支援の一層の充実を図ってまいります。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（6）

お取引先の経営改善のために経営者の皆さまと真剣に向き合います③ ～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～
～事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底～

金融円滑化に関する取り組みについて

当行は、平成19年4月制定の「CSR憲章」において「地域社会との共存共栄」を経営理念の一つとして定め、地域社会の持続的な発展を目指して多面的に貢献すべく、金融仲介機能の発揮に積極的に取り組んでまいりました。

地域金融機関として金融円滑化への取り組みを一層強化するために、平成22年1月、新たに「金融円滑化管理方針」を制定いたしました。本方針の理念を全役職員が十分に理解し、実践していくことで、真に信頼される銀行を目指してまいります。

なお、本方針の具体的内容や貸付けの条件の変更等の実施状況等、詳細については当行ホームページ「金融円滑化への取り組み」をご覧ください。

【貸付けの条件変更等の実施状況の主な内容(平成23年3月末)】

債務者が中小企業者である場合

(単位:百万円・件)

	貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数・額	うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権の数・額				うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権の数・額					
		うち、実行に係る貸付債権の数・額	うち、謝絶に係る貸付債権の数・額	うち、審査中の貸付債権の数・額	うち、取下げに係る貸付債権の数・額	うち、実行に係る貸付債権の数・額	うち、謝絶に係る貸付債権の数・額	うち、審査中の貸付債権の数・額	うち、取下げに係る貸付債権の数・額		
件数	9,219	4,775	4,319	135	171	150	4,444	3,832	120	255	237
金額	376,489	309,715	295,391	5,371	5,037	3,915	66,773	58,522	1,668	3,355	3,226

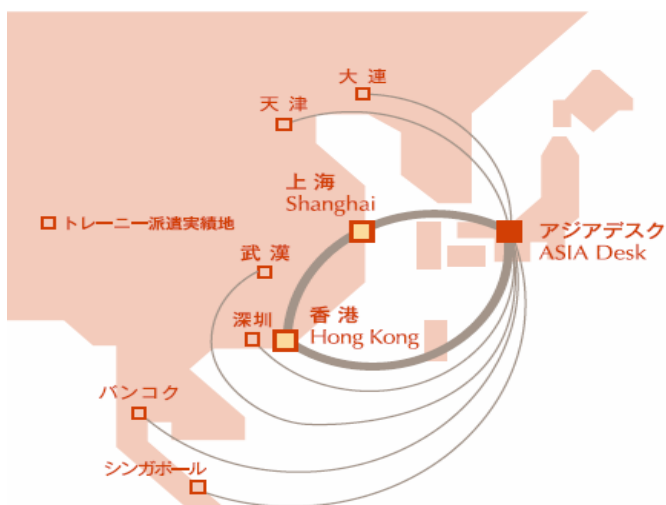
債務者が住宅資金借入者である場合

	貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数・額	うち、実行に係る貸付債権の数・額	うち、謝絶に係る貸付債権の数・額	うち、審査中の貸付債権の数・額	うち、取下げに係る貸付債権の数・額
件数	731	534	64	53	80
金額	9,278	6,649	815	650	1,162

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（1）



《経済成長著しい上海》



《しがぎんアジアネットワーク》

アジアビジネスを積極的にサポートします

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～

国内の地方銀行で初めて人民元建て外国送金を実施

- ・当行は、平成22年9月より人民元建て決済のサービス取り扱いを開始し、国内における地方銀行で初めてとなる人民元建て外国送金を実施いたしました。
- ・これにより、人民元建て外貨普通預金口座の開設や日本国内企業と中国企業との決済などを人民元建てで行っていただけるようになりました。
- ・また、平成23年2月には香港支店でも人民元建て業務の取り扱いを開始し、現地での人民元建て融資取引や預金取引にもお応えできる体制となりました。
- ・今後も中国当局の規制緩和の状況にあわせて取り扱い業務の拡大を検討し、お取引先のアジアビジネスを積極的にサポートしてまいります。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（2）



《「しがぎん」アジアセミナーの様子》

アジアビジネスの情報をご提供します

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～

『しがぎん』アジアビジネスソリューションセミナー

- ・第3回となる『しがぎん』アジアビジネスソリューションセミナー」を3月16日に開催いたしました。
- ・今回のセミナーは、「中国における経理・会計実務」をテーマに、「中国現地法人の決算書を中心とした会計実務について」および「中国における銀行取引の規制や注意点について」を事例を交えて情報をご提供しました。

《アジアビジネスのお手伝い》

（お取引先のニーズ(例)）

（当行のサービス(例)）

- | | | |
|-----------------|---|------------------------------|
| 中国から雑貨を仕入れたい | → | 現地製造業者のご紹介、代金決済方法・仕入れルートの確認 |
| 中国に工場を建てたい | → | 事業化の検討、現地工場用地のご紹介、設立手続きのお手伝い |
| 海外現地法人を再編したい | → | 現地法人の統合、再編手続きのお手伝い |
| 海外現地で運転資金を調達したい | → | 香港支店からクロスボーダーローンをご提供 |

お問い合わせ先：国際部アジアデスク 077-521-2485

『しがぎん』アジアセミナー

- ・『しがぎん』アジアセミナー」を平成5年以来毎年開催しております。
- ・平成22年度は「中国最新事情」や「インドの投資環境」をテーマに、従来の滋賀県内での開催に加え、京都会場および三重会場でも開催しました。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（3）

アジアでも「しがぎん」ネットワークを発揮します

～ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化～

中国でセミナーや商談会を開催

▶「チャイナビジネスセミナー&交流会 in 蘇州」

- ・平成23年5月20日に中国蘇州において、中国銀行、西日本シティ銀行、北國銀行との共催で、「チャイナビジネスセミナー&交流会 in 蘇州」を開催します。蘇州でのセミナー開催は、当行にとって初めてとなります。
- ・当セミナーでは、現地で活躍される税務やチャイナビジネスの専門家をお招きし、中国ビジネスの展開に役立つ最新情報について、ご講演いただく予定です。
- ・この他にも中国国内において、当行主催の『「しがぎん」上海セミナー』（毎年開催）や、昨年6月には広東省深セン市において香港に拠点を有する地方銀行17行（当行含む）の共同で、「日系企業ビジネス交流会」を開催しました。

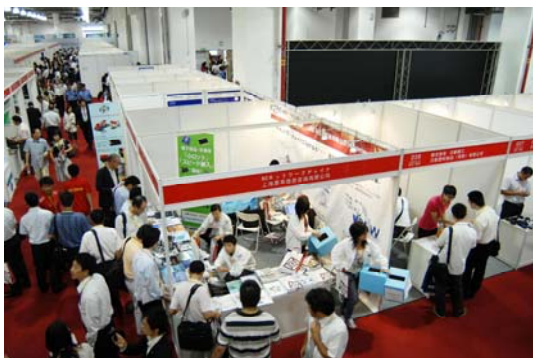
▶「日中ものづくり商談会@上海2010」

- ・平成22年9月16日、17日に当行を含めた地方銀行26行等が「日中ものづくり商談会@上海2010」を共同開催しました。商談会では、お取引先企業（製造業）が取り扱われている製品・部材を展示いただくことで、中国での委託加工、仕入先の開拓や中国市場での販路拡大をいただくお手伝いをしました。
- ・平成23年度も、9月6日、7日に本商談会の開催を予定しており、中国で販売拡大を図りたい日本の製造業者約500社が出展し、中国企業向けにPR活動や商談を行う予定です。

当行は近畿で唯一、海外に支店を有する地方銀行として、香港支店で銀行業務を行っております。加えて、上海駐在員事務所、国際部アジアデスク、営業店のネットワークを活用し、お取引先のアジアにおける新たな拠点進出や販路拡大に向け、引き続きサポートしてまいります。



《『しがぎん』上海セミナーの様子》



《日中ものづくり商談会@上海2010の様子》

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（1）



《贈呈式の様子》



《学校ビオトープの様子》

お客さまのご預金を「小学生の環境教育」につなげます

～地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献～

「エコプラス定期」

- ・お客さまが当行のダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)を利用して定期預金をしていただくと、1回のお預け入れごとに7円(ダイレクトチャネル利用で不要となる定期預金申込用紙代相当額)を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただきます。
- ・エコプラス定期は平成15年より取り扱いを開始し、平成23年3月末現在累計約179万件となっております。
- ・平成22年度は3校に各々50万円を寄贈し、平成18年度以来、助成校は累計で16校、総額754万円にのびります。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（2）

PLB3原則

1. 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
2. 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立を目指します。
3. 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。

地球環境保全を真剣に考えています

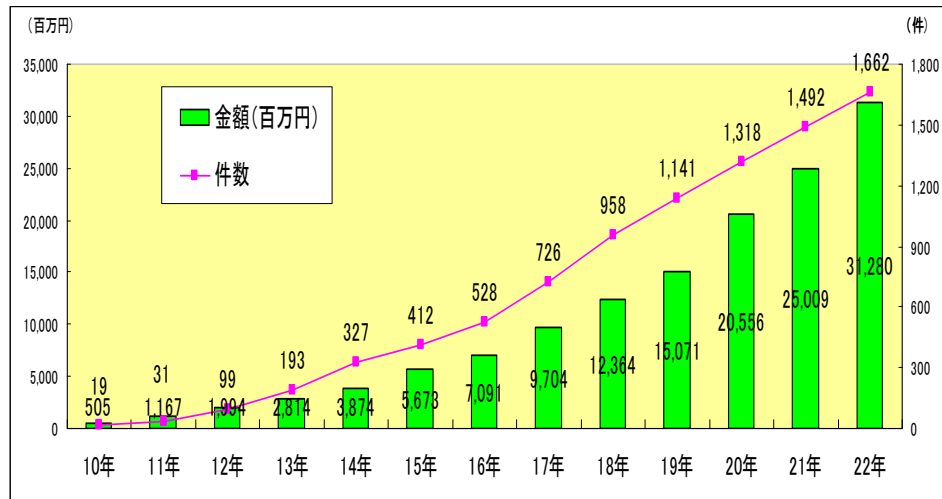
～地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献～
～事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底～

「しがぎん琵琶湖原則」（PLB）

・お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則」（PLB＝Principles for Lake Biwa）を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めたこの原則への賛同を広く呼びかけています。

・「PLB」にご賛同いただいたお客さまに対し「PLB格付（環境格付）」を行い、格付評価に応じてご融資金利を最大で年0.5%引き下げする「琵琶湖原則支援資金（PLB資金）」（平成17年12月取り扱い開始）を提供し、お客さまの地球環境保全への取り組みをサポートしています。

・PLB資金とエコ・クリーン資金の取り扱い開始からの累計は、平成23年3月末現在で1,662件の312億円となりました。



《PLB資金とエコ・クリーン資金の取り扱い開始からの累計推移》

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（3）



《PLB格付BD評価項目》

分野	評価指標(概要)
経営方針	1. 「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
普及啓発・活動の公表	7. 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
	8. 活動や成果の公表状況

お客さまに生物多様性保全を呼びかけています
 ～地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献～

「生物多様性（Biodiversity）」についての独自の評価体系「PLB格付BD」

- ・「豊かな生物多様性の承継と自然共生社会の構築」に向けた取り組みを新たな挑戦と位置づけ、「生物多様性」について当行独自の評価体系「PLB格付BD」を策定し、平成21年11月より取り扱いを開始しました。
- ・これは、お取引先企業が生物多様性の保全活動に取り組む際の「道しるべ」となるよう、厳選した8項目で評価させていただくものです。そのうえで、企業活動において「生物多様性の保全等に対する配慮がされている」と当行が判断し、お取引先企業が「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」を利用される場合、PLB格付での引き下げ幅と合わせて最大で年0.6%の金利引き下げが可能となるものです。
- ・なお、生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表したのは、全国の金融機関で初めてです。
- ・取り扱い開始から平成23年3月末までの間に1,760件のPLB格付BDの評価を行いました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（4）



お客さまのお借入を自然エネルギーの導入と生物多様性の保全につなげます
～地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献～

「カーボンニュートラルローン 未来よし」

- ・自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全を目的とするサービスです。
- ・これは、お客さまが当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出するものです。
- ・なお、各商品で適用される金利プランからさらに年0.1%の金利を差し引くことで、環境保全に“志”のあるお客さまをサポートしています。
- ・これまで累計85億円のご融資をご利用いただき、平成19年度から総額530万円を財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈しました。これは、ニゴロブナ12万匹、ワタカ3万匹相当にあたります。



《当行の役職員がニゴロブナを放流》

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（5）



《「エコ・ファースト・フォローアップ式」

小沢環境大臣(当時)と大道頭取(右)》

「エコ・ファーストの約束」

- ◇“お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品を積極的に推進します。
- ◇地球温暖化の防止・循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

「エコ・ファースト企業」として環境金融の取り組みを強化

～地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献～

金融業界初の「エコ・ファースト企業」として認定

- ・当行は、平成20年7月に環境省から金融業界初の「エコ・ファースト企業」として認定を受けました。
- ・地球温暖化防止に向けた取り組みや、金融機関ならではの環境対応型金融商品・サービスの積極的な推進により、約束の11項目は順調に進捗しています。（進捗状況は環境省への報告及びCSRレポートによる公表を行っております。）
- ・当行は今後とも約束の達成に向けて、「環境金融」の取り組みを一層進めてまいります。

➤「エコ・ファースト制度」

環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくため、企業が環境大臣に対し、京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度として、平成20年4月に設けられたもの。（平成23年3月末時点認定企業：33社）

地域密着型金融の推進に関する数値目標および実績について

地域密着型金融推進に関し、当行が平成25年3月末までに目指す数値目標とその進捗状況は下記のとおりです。

取り組み項目	平成25年3月末 目標	平成23年3月末 実績	平成23年3月末 進捗率(%)	取り組み分野		
				ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
◎ 第4次長期経営計画の挑戦指標						
Tier1比率(連結)	9.0%以上	9.58%	平成23年3月末 進捗率(%)	○	○	○
ROE(連結)	3.5%以上	1.99%				
OHR(単体)	65%以下	65.73%				
CO ₂ 排出量 [※1]	(2006年度比較) 25%削減	56.38%				
◎ 「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み						
○ 「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み						
ニュービジネスサポート：コーディネート活動件数	100件	26件	26.0%	○	○	○
ビジネスマッチング件数(面談設定)	2,400件	1,750件	72.9%	○		○
事業承継提案件数	360件	128件	35.5%	○		
格付コミュニケーションサービスの実施回数(のべ回数)	3,400回	1,589回	46.7%	○	○	
債務者区分のランクアップ先数 [※2]	60件	8件	13.3%	○		
中小企業再生支援協議会の活用件数	24件	5件	20.8%	○	○	
○ 「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み						
アジアデスク・海外拠点によるサポート件数	3,600件	1,572件	43.6%	○		
中国進出アドバイザー契約件数	10件	1件	10.0%	○		
海外ミッション、海外商談会	各3回	各2回	66.6%	○		
海外企業とのビジネスマッチング取り組み件数	100件	32件	32.0%	○		
○ 「CSRのしがぎん」に関する取り組み						
エコプラス定期	650,000件	193,187件	29.7%			○
PLB資金、エコクリーン資金(件数) [※3]	1,400件	170件	12.1%		○	○
PLB資金、エコクリーン資金(金額)	180億円	62.7億円	34.8%		○	○
PLB格付BD評価件数 [※4]	3,800件	1,760件	46.3%			○
災害リスクコンサルティング	100件	182件	182.0%			○

- ※1 CO₂排出量実績 …排出権の購入によるカーボンオフセット効果31.45%の削減を含みます。
 ※2 債務者区分のランクアップ先数…審査部企業経営支援室が担当するお取引先(対象先136先)についてカウントします。
 ※3 PLB資金 …「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金
 ※4 PLB格付BD …生物多様性(Biodiversity)の保全活動に取り組みられるお取引先に対する当行独自の評価体系

〔ご参考〕 主要開示計数について（平成22年4月～平成23年3月）

【経営改善支援等の取り組み実績】

（単位：先数）

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先 α				経営改善支援取組 み率 = α / A	ランクアップ率 = β / α	再生計画策定率 = δ / α	
			αのうち期末に債務者 区分がランクアップし た先数 β	αのうち期末に債務者 区分が変化しなかった 先 γ	αのうち再生計画を策 定した先数 δ				
正常先 ①	15,725	3		1	0	0.0%		0.0%	
注意先	うちその他要注意先 ②	2,313	105	0	87	22	4.5%	0.0%	21.0%
	うち要管理先 ③	204	7	3	0	1	3.4%	42.9%	14.3%
破綻懸念先 ④	696	16	4	8	0	2.3%	25.0%	0.0%	
実質破綻先 ⑤	1,417	3	1	2	0	0.2%	33.3%	0.0%	
破綻先 ⑥	348	2	0	2	0	0.6%	0.0%	0.0%	
小計(②～⑥の計)	4,978	133	8	99	23	2.7%	6.0%	17.3%	
合計	20,703	136	8	100	23	0.7%	5.9%	16.9%	

【創業・新事業支援融資、個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取り組み実績】

項目	件数	金額(百万円)
創業・新事業支援融資実績	84	1,053
(個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取り組み実績)		
動産・債権譲渡担保融資実績	127	3,516

※創業・新事業支援の取り組みとして、左記のほかに企業育成ファンドを通じて29先64百万円の支援(投資等)を行っております。